



2024年度
ハヤシレピック
環境経営レポート

(対象期間：2024年4月～2025年3月)



発行日：2025年7月1日
ハヤシホールディングス株式会社

対象事業所：ハヤシレピック株式会社
つくば事業所、大阪営業所、仙台営業所

1.組織の概要

認証・登録の事業所（ハヤシホールディングス株式会社）

(1) 事業所名	(大塚地区) ハヤシホールディングス株式会社 -総務部／経理部／IT 推進室／事業開発室 ハヤシレピック株式会社 -第 1 事業部 -第 4 事業部 -第 3 事業部 営業課 -第 5 事業部 東京営業所  ・つくば事業所 ・大阪営業所 ・仙台営業所	
(2) 本社所在地	〒170-0004 東京都豊島区北大塚一丁目 28-3 本社 土地面積 891 ㎡ 延べ床面積 1,354 ㎡	
(3) 代表者	ハヤシホールディングス株式会社:代表取締役 山田 暁美 ハヤシレピック株式会社:代表取締役 山田 雅義	
(4) 事業内容	ハヤシホールディングス株式会社 ・傘下である精密機器製造業のハヤシレピック株式会社、比内時計工業株式会社の経営管理	
	対象事業所:ハヤシレピック株式会社 第 1 事業部、第 4 事業部 つくば事業所、大阪営業所、仙台営業所	
	過去の腕時計製造で培ってきた精密加工技術を活かした工場・研究所で使用される機器の設計開発及び販売。電子部品の輸入販売。 ・スポット照明装置(主に工場の検査用)の開発、販売 ・電動ドライバー(精密機器組立用)の開発、販売 ・物理学系実験装置(大学や KEK 等の研究機関向け)の開発、販売 ・高周波用同軸コネクタ・ケーブル、生産設備用センサー等の輸入販売	
	創業	昭和 5 年
(5) 事業規模	資本金	77,900 千円／50,000 千円
	従業員	ハヤシ HD : 21 名 ハヤシレピック: 84 名(大塚地区(東京) 64 名／地方営業所(つくば・大阪・仙台) 20 名)
(6) 環境関係 受付窓口	環境管理責任者	ハヤシレピック株式会社 代表取締役 山田 雅義
	担当窓口	ハヤシホールディングス株式会社 総務部
	TEL／FAX	03-3918-5237 / 03-3918-7326
	E-mail	admin.dp@h-repic.co.jp

取り扱い商品

腕時計の製造をルーツとして、私たちの身の回りにある
『モノの一部』や『モノを作るための機械』を提供しています。

パーツ製造



精密パーツ

ネジ止め



ドライバー



部品供給

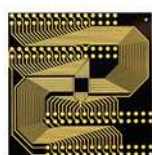


パーツフィーダー

外観検査



産業用ライト



半導体



物理学系実験装置

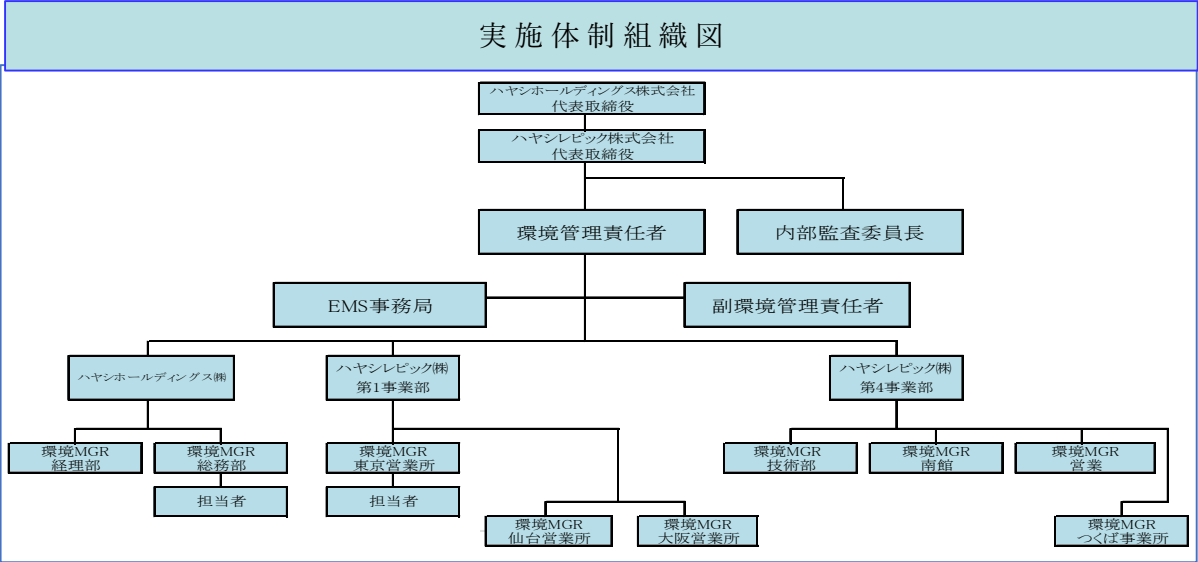


コネクタ・ケーブル

環境経営システム図

環境経営システム実施体制の構築

エコアクション 21 に基づく環境経営システムを構築、実施、維持し継続的に改善するため、次に示す実施体制を構築する。



ハヤシホールディングス株式会社

○代表取締役

ハヤシレピック株式会社

○代表取締役 ○環境管理責任者（兼任）

- ・全社環境方針の策定と実施結果のレビュー
- ・経営における課題とチャンスの明確化
- ・ハヤシホールディングス(株)、ハヤシレピック(株)(以下では省略)の環境目標及び環境活動計画決定と、実施状況の評価・見直し
- ・環境マニュアル及び環境活動レポートの制定
- ・内部監査員の指名
- ・内部環境監査の実施総括
- ・環境経営システムの構築・実施・維持を確実にする
- ・環境負荷と環境への取組み状況の把握及び評価と定期的見直し
- ・環境関連法規の遵守・対応状況の管理
- ・従業員に対する環境教育計画策定と実施状況の評価
- ・環境活動取組み状況の確認と是正
- ・環境関連手順書の制定と見直し
- ・緊急事態の教育

○副環境管理責任者

- ・環境管理責任者の役割を補佐する

○内部監査委員会

◇内部監査委員長

- ・内部監査計画の決定・実施・評価、フォローアップと代表者への報告

◇内部監査委員

- ・内部監査の実施、評価

○エコアクション 21 推進事務局(EMS 事務局)

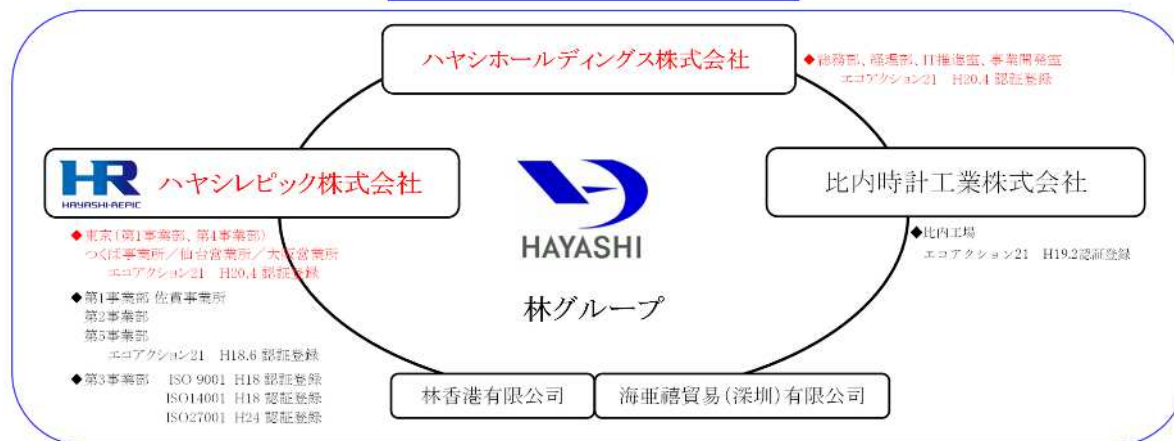
- ・環境会議(マネージャー会議)の開催と文書管理
- ・環境活動計画の取りまとめと実績管理
- ・環境関連法規の取りまとめと定期的見直し
- ・環境負荷と環境への取組み状況の把握及び評価の取りまとめと維持

○環境マネージャーおよび担当者

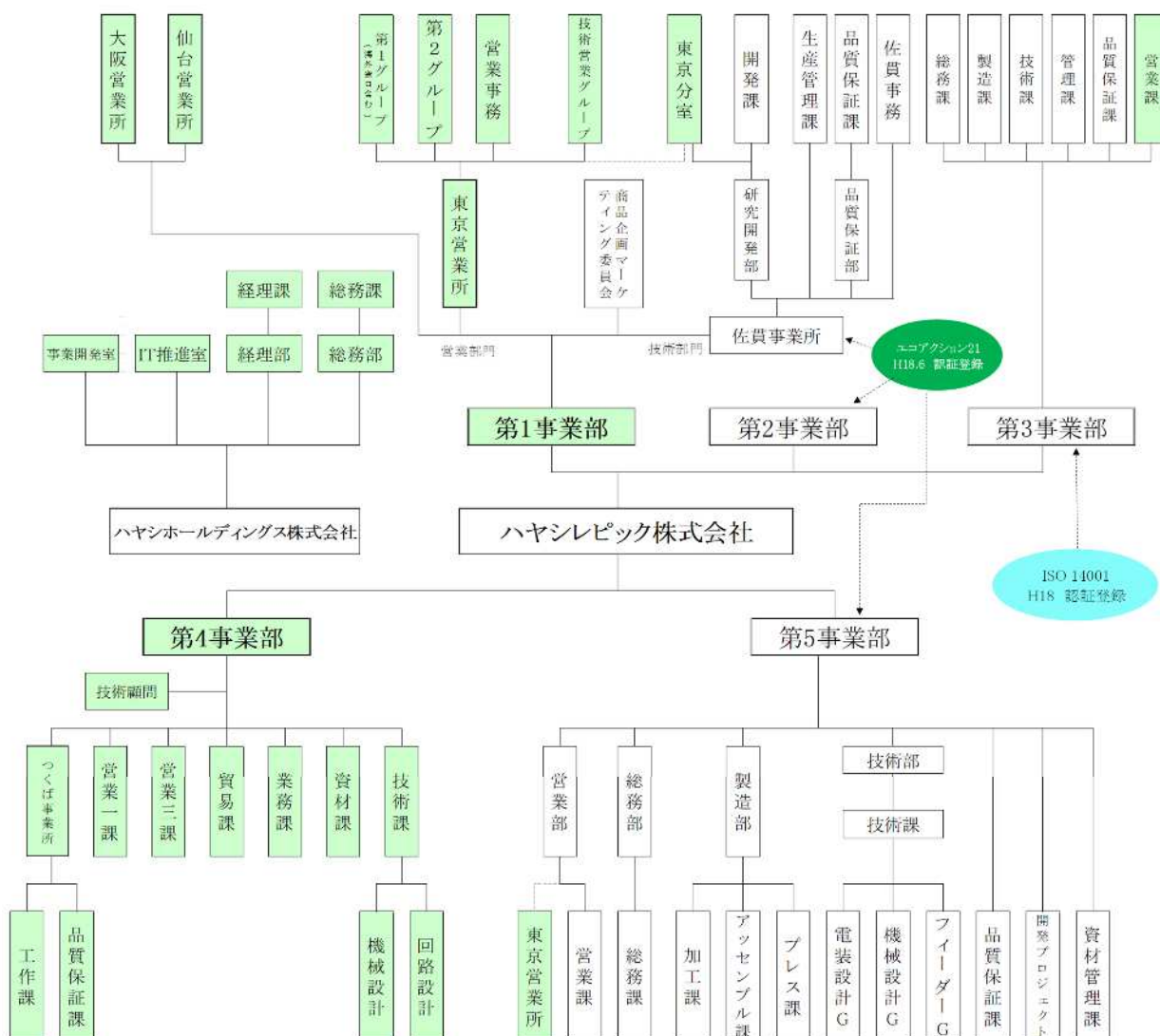
- ・環境経営システムの実施責任と環境管理責任者への定期報告
- ・環境手順書に従って環境活動を推進し、手順書を維持・管理する

2.対象範囲（認証・登録範囲）

林グループ組織図



認証登録範囲



3.環境経営方針

環境経営方針

基本理念

ハヤシホールディングス株式会社、ハヤシレピック株式会社は、これまで培ってきた時計製造技術を活かした工業用精密機器を提供し、「お客様に喜んでいただき、社会の役に立つ」とともに、地域の良き企業市民として企業活動と地球環境との調和を目指し、常に市場に提供する製品の設計・生産・サービス・調達等の事業活動において、一人一人が環境へのやさしさを優先して行動いたします。

行動指針

- ・環境管理システムを確立し、事業活動が環境に与える影響を把握し、環境汚染の防止を継続的に改善します。
- ・各事業活動において化石燃料・水などの資源・エネルギーの有効利用を追求し、CO2の削減に取り組みます。
- ・リサイクルや再利用を推進し、廃棄物を削減します。
- ・環境負荷低減に配慮した製品・サービスの提供に努めます。
- ・環境関連の法規制や協定を遵守し、さらに自主的な環境保全活動を実施します。
- ・全従業員に環境教育を実施し、環境意識の向上を図り、方針に沿った行動を促します。

制定 2005年4月1日

改訂 2024年7月1日

ハヤシホールディングス株式会社 代表取締役 山田 暁美

ハヤシレピック株式会社 代表取締役 山田 雅義

林グループ長期方針

林グループ各社の先見性、創造性、協調性を積極的に発揮し時代の変化を先取りする

林グループ経営理念

- 1.常に時代の変化を先見する
- 2.常に顧客のニーズに対応する
- 3.常に独自の技術を追求する
- 4.常に高品質・高信頼の製品を提供する

< 林グループ 2024年度スローガン >
時代が大きく変化する中、社員一人一人が役割と責任を果たすための「**考動**」を起こし、「**力のある100年企業**」に繋げていこう

4.環境経営目標

2019 年度より維持活動とし、過去 3 年の実績の平均値を基準値(＝目標値 ※)としています。
二酸化炭素排出係数は、「環境への負荷の自己チェック表」の掲載値を使用し、電力消費量については、
(調整後)の値を用い算出しています。

大塚:U-POWER つくば:U-POWER 大阪:関西電力 仙台:東北電力

※:設備不具合や人員の変更で異常値が出た場合は見直しあり。
端数計算の関係で若干の誤差あり。

全体の 目標値	1.消費エネルギー				2. 廃棄物		3.水使用量 (m ³)
	CO2 (kg)	電力 (kwh)	ガス (m ³)	ガソリン (ℓ)	一般廃棄物 (kg)	産業廃棄物 (kg)	
2025	93,049	150,945	763	8,260	6,050	935	977
2026	2023～2025 年度の平均値を用いる						
2027	2024～2026 年度の平均値を用いる						

大塚	CO2	電力	ガス	ガソリン	一廃	産廃	水
2022	※62,294	103,063	908	※4,815	5,760	650	890
2023	※61,631	104,406	※692	※4,455	5,665	810	898
2024	63,495	105,462	642	4,588	5,833	536	818
平均	62,473	104,310	747	4,619	5,753	665	869

※ガスおよびガソリン消費量の数値見直しにより、実際の数値と異なる

仙台	CO2	電力	ガス	ガソリン	一廃	産廃	水
2022	※8,134	5,320	11	2,301			18
2023	※6,898	5,322	11	1,768			15
2024	6,255	5,472	10	1,576			14
平均	7,096	5,371	11	1,882			16

※ガスの数値集計開始により、実際の数値と異なる

つくば	CO2	電力	ガス	ガソリン	一廃	産廃	水
2022	※15,846	33,482	5	※ 84	408	10	114
2023	17,644	35,653	5	54	342	800	79
2024	19,515	39,706	4	53	※(2)142	0	84
平均	17,668	36,280	5	64	297	270	92

※ガソリン消費量の数値見直しにより、実際の数値と異なる

※(2)2024 年度より、段ボールを集計数から除外したため、前年度数値との乖離が発生

大阪	CO2	電力	ガス	ガソリン	一廃	産廃	水
2022	5,165	5,253		1,434			
2023	5,753	4,862		1,746			
2024	6,519	4,837		1,904			
平均	5,812	4,984		1,695			

	4.化学物質の 適正管理	5.環境負荷低減に配慮した製品・サービスの提供		
		第 1 事業部	第 4 事業部	つくば事業所
2025	化学物質の適切な利用、使用状況の把握	LED 照明装置販売量の拡充 (照明売上での LED の比率 70%以上) 低環境負荷製品の開発・販売	RoHS 指令、REACH 規制 適合の電子部品の輸入拡大	高周波ケーブル等、製品の歩留 まり向上 (不良濃度:年間 1,800ppm 以下)
2026	化学物質の適切な利用、使用状況の把握	LED 照明装置販売量の拡充 (照明売上での LED の比率 70%以上) 低環境負荷製品の開発・販売	RoHS 指令、REACH 規制 適合の電子部品の輸入拡大	高周波ケーブル等、製品の歩留 まり向上 (不良濃度:年間 1,800ppm 以下)
2027	化学物質の管理体制 の維持、強化	LED 照明装置販売量の拡充 (照明売上での LED の比率 75%以上) 低環境負荷製品の開発・販売	RoHS 指令、REACH 規制 適合の電子部品の輸入拡大	高周波ケーブル等、製品の歩留 まり向上 (不良濃度:年間 1,800ppm 以下)

5.環境経営計画

目標達成のための具体的な取組み

1 消費エネルギーの削減

- ①電力使用量の削減 ― 周囲の社員に配慮した上で下記の事項を実践
 - (ア) 退社、不使用時の不要な照明の消灯や OA 機器の電源 OFF を徹底
 - (イ) パソコン使用時の省電力設定(5 分)
 - (ウ) 窓側の照明や廊下照明は最小限にする(事務室は 300 ルクス以上の確保)
 - (エ) 室温は冷房時 28℃、暖房時 21℃を基本とし、こまめに室温調整をする
 - (オ) OA 機器の購入は省エネタイプを選ぶ
 - (カ) 食堂、トイレ、会議室等共用で使用するエアコン、照明の OFF は最後に退出する者が行う
 - (キ) 便座の蓋は使用後各自が閉める
 - (ク) エアコンのフィルタの清掃をこまめに行う
- ②自動車燃料使用量の削減
 - (ア) 走行ルートの合理化を図る
 - (イ) 車両整備の徹底、特にタイヤの空気圧の適正管理に努める
 - (ウ) 経済走行を徹底し、駐停車時は空ぶかしをせず、安全を確認した上でアイドリングストップを行う
 - (エ) 不必要な荷物を積まない
 - (オ) 車両購入に際し、ハイブリッドカー導入を検討する
- ③ガス使用量の削減
 - (ア) 湯沸かし時、沸騰したままにしない
 - (イ) 給湯器の湯は無駄に使用しない、流したままにしない

2 廃棄物排出量削減

- ①廃棄物削減
 - (ア) 可燃ゴミ、不燃ゴミ、資源ゴミ、産廃の分別を徹底する
 - (イ) 廃棄についての法令を遵守する
- ②紙類使用量の削減
 - (ア) 内部資料については裏紙使用を心がける
 - (イ) 資料の共有化を図る(会議時のプロジェクト使用、ファイル等の共有)
 - (ウ) 回覧・掲示、電子メールを利用する
 - (エ) 再生紙の導入を検討する

3 水使用量の削減

- (ア) トイレや給湯室等で、水を使用の際には常に節水を心がける
- (イ) 水道管等からの水漏れがないことを確認する

4 化学物質の適正管理

- (ア) 購入品名、購入量を帳簿に記載し、適正な消費量管理を行う
- (イ) 製品安全データシートは製品の近くに置き、いつでも閲覧できるようにする
- (ウ) 化学物質の容器の入替等、取扱いは製品安全データシートに従う

5 環境負荷低減に配慮した製品・サービスの提供

- (ア) 照明部門では LED 照明の拡販に努める
- (イ) 輸入部門では環境基準に適合した電子部品、製品を輸入拡販する
- (ウ) 高周波ケーブル等、製品の歩留まり向上を目指す

6 環境教育の実施

- (ア) 社員の参加意識を高めるため、食堂掲示板での広報活動を行う
- (イ) 強化月間を設け、キャンペーン等各部門担当者が指導して、全員参加の協力を得る
- (ウ) 活動のマナー化防止に努める
- (エ) 内部監査の充実を図る
- (オ) 5S の推進に努める
- (カ) 地方営業所への指導、バックアップを行っていく

7 法規制類の遵守

- (ア) 環境関連法規を確認し、自部門の業務を照合して年 1 回遵守確認を行う
- (イ) 事務局は日頃から各地域の法改正等の情報収集に努め、必要に応じてスピーディな対応を図る

8 その他

- (ア) 顧客・近隣より環境に関わる苦情が出ないよう細心の配慮をする

6.環境経営計画に基づき実施した取組内容（2024 年度）

主な活動

(ア) マネージャー会議 12 回実施

- ・前月度の環境活動の削減結果を EMS 事務局から報告
- ・各マネージャーから活動状況報告
- ・問題点の抽出、CO2 をはじめとする数値を削減するためのアイデアを出し合う

(イ) 代表者会議 2024 年 5 月 15 日実施

- ・2023 年度の環境活動について経過報告とそれに対する評価・指示

(ウ) 節電対策

- ・クールビズを 2024 年 5 月 13 日から 10 月 31 日まで実施
- ・残業を 19 時までとする健康デーを週一回設けている
- ・不要電灯の消灯の呼びかけポスターをトイレ等共用部に設置
- ・照明の消し忘れ防止のため、本社の一部トイレにセンサーライトを導入

(エ) 内部環境監査 2024 年 12 月 2 日～12 月 13 日実施

- ・取組み状況の確認と社員の意識向上を図り、内部監査を実施
- ・チェック項目の A 評価 145 件、B 評価 3 件、C 評価 0 件

(オ) 防災避難訓練 大塚地区・つくば事業所

- 1.大塚地区 2024 年 11 月 27 日、豊島消防署員 2 名による確認・立ち合い
 - ・通報訓練(模擬)
 - ・避難訓練、消火訓練(模擬)
 - ・応急救命救護訓練
- 2.つくば事業所 2024 年 11 月 11 日 自主訓練
 - ・避難訓練（震度 6 強の地震発生後→火災発生）

(カ) エコアクション 21 更新審査

- ・2024 年 9 月に大塚地区、つくば事業所の現地審査を実施

(キ) 新製品展示会 2 回 実施

- ・欧州の RoHS 指令対応製品の「同軸コネクタ・ケーブル」を出展
11 月 マイクロウェーブ展 2024
- ・食品工場などに用いられる「スイッチ・センサー」を出展
6 月 FOOMA JAPAN 2024



第 4 事業部
11 月 マイクロウェーブ展 2024

防災避難訓練（緊急時の対応）

＜ 大塚地区 ＞

2024 年 11 月 27 日 豊島消防署員 2 名による指導の下、
通報訓練、避難訓練、消火訓練(模擬)、応急救護訓練を実施



消火栓による模擬消火



消火器による模擬消火



講評：豊島消防署員



AED を用いた応急救護訓練



総評：斎藤取締役

＜ つくば事業所 ＞

2024 年 11 月 11 日 地震発生時避難訓練

震源地つくば 震度6強 2F給湯室での火災発生を想定した避難訓練



7.環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

取組結果とその評価

環境マネージャー全員により、毎月一回各担当職場の環境活動状況をチェックしました。

○:80%以上実施、△:50%以上の実施、×:50%未満の実施 の三段階で評価し、項目毎の合計件数に対する各評価件数を比率(%)で表したのが下記の一覧表です。

チェック項目	評価の比率			結果と次年度の取り組み
	○	△	×	
1 消費エネルギーの削減				
① 電気使用状況				
ア 退社時や、不要な照明の消灯(周囲の社員に配慮して)や OA 機器の電源 OFF	99%	1%	0%	昨年と同様、エアコンの室温に関しては夏と冬の時期に△が目立つ結果となった。室温は目安として設けているものの気温の感じ方には個人差があるため、個々に配慮したうえで温度調整を行ったのではと読み取れる。エアコンのフィルター清掃は昨年よりも△が増えているので、担当者に注意喚起を促す。
イ パソコン使用時の省電力画面モード設定(5分)	100%	0%	0%	
ウ 窓側や廊下照明は最小限にする	97%	3%	0%	
エ 室温は冷房時28℃以上、暖房時21℃以下を基本とし、こまめに室温調整する	83%	17%	0%	
オ OA 機器を購入の際には、省エネタイプを選択	100%	0%	0%	
カ 食堂・トイレ・会議室等の照明及びエアコンの退出時電源 OFF	98%	2%	0%	
キ 使用後の便座の蓋は各自が閉じる	98%	2%	0%	
ク エアコンのフィルタ清掃	89%	11%	0%	
② ガソリン等燃料に関する使用状況				
ア 走行ルートは合理的なコースを選ぶ	98%	2%	0%	12 月から翌年 2 月にかけて、社用車による軽微な事故が多発した。エコドライブだけでなく、基本的な安全運転意識の啓発も行っていかなければならない。
イ タイヤの空気圧の適正管理	100%	0%	0%	
ウ 経済速度での走行と駐停車時のアイドリングストップ(安全を優先)	100%	0%	0%	
エ 不必要な荷物を積まない	96%	4%	0%	
オ 車両購入に際し、ハイブリッドカー導入を検討する	100%	0%	0%	
③ ガス使用状況				
ア お湯を沸かす時に沸騰したままにしない	100%	0%	0%	ガスの無駄遣いなどはなく、適切な使用状況である。
イ 給湯器でムダなお湯を使用しない、流したままにしない	100%	0%	0%	
2 廃棄物排出量削減				
① 廃棄物の削減状況				
ア 可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ・ダンボール・新聞・雑誌・産廃に分別がなされている	92%	8%	0%	時折誤ったゴミの分別が見受けられた。注意喚起を行う。
イ 廃棄の法令遵守	100%	0%	0%	
② 紙類の削減状況				
ア 内部資料の裏紙使用	93%	7%	0%	資料を紙とデータ、二重で保管している部署もあるため、エコと業務効率化の観点から見直すよう促していく。
イ 資料の共有化を図っている(会議時プロジェクト活用、ファイリングの共有等)	98%	2%	0%	
ウ 回覧・掲示、電子メールの利用	99%	1%	0%	
エ 再生紙の導入を検討する	100%	0%	0%	

チェック項目	評価の比率			結果と次年度の取り組み
	○	△	×	
3 水使用量の削減				
ア 流したままにせず、節水を心がけている	100%	0%	0%	基本的な節水は問題なく行えている。
イ 水道から水が漏れている所は無い(○or×)	100%	0%	0%	
4 化学物質の適正管理				
ア 購入品名や購入量を帳簿に記載し、適正な消費量管理を行っている	100%	0%	0%	PRTR 制度対象物質なし
イ 製品安全データシートは製品の近くに置き、いつでも閲覧できる	100%	0%	0%	
ウ 化学物質の容器の入替え等、取扱い は製品安全データシートに従っている	100%	0%	0%	
5 環境負荷低減に配慮した製品・サービスの提供				
ア LED照明の拡販に努める (第 1 事業部)	97%	3%	0%	EA21 認証企業であることを対外的にアピールし、販促活動につなげている。
イ 環境基準に適合した製品を輸入拡販する(第 4 事業部)	100%	0%	0%	
ウ 高周波ケーブル等、製品の歩留まり向上 (つくば事業所)	92%	8%	0%	
6 環境教育の実施				
ア 参加意義を高めるための広報活動を行う	0%	0%	0%	マンネリ化は感じるものの、節電や節水、ゴミの分別など基本的な活動は継続して行えている。マンネリの打破については、「やらされ感」と取り除き、自発的な意識に訴える施策が必要かもしれない。
イ 強化月間を設け、キャンペーン等全員参加の協力を得る	96%	4%	0%	
ウ 活動のマンネリ化を防ぐ	79%	21%	0%	
エ 内部監査の充実	100%	-	-	
オ 5Sの活動状況	86%	14%	0%	
カ 地方営業所の活動への指導、バックアップを行う	0%	0%	0%	
7 法規制類の遵守				
ア 環境関連法規を確認し、自部門の業務を照合して年1回遵守確認をする	0%	0%	0%	現状問題はない。定期的な法規制のチェックを継続して行う。
イ 事務局は日頃から各地域の法改正等の情報収集に努め、必要に応じてスピーディな対応を図る	0%	-	-	
8 その他				
ア 社外から環境に関わる苦情の有無(無い場合には○印)	100%	-	-	社外からの苦情は特になし。
合計	97%	3%	0%	

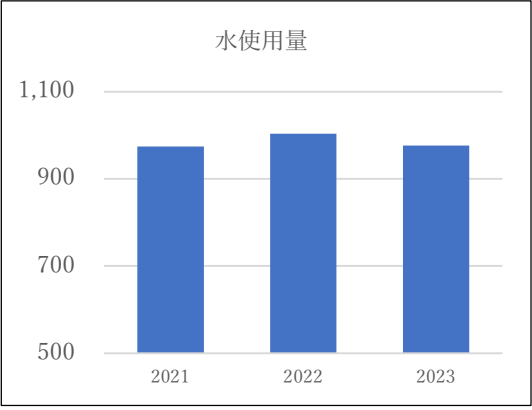
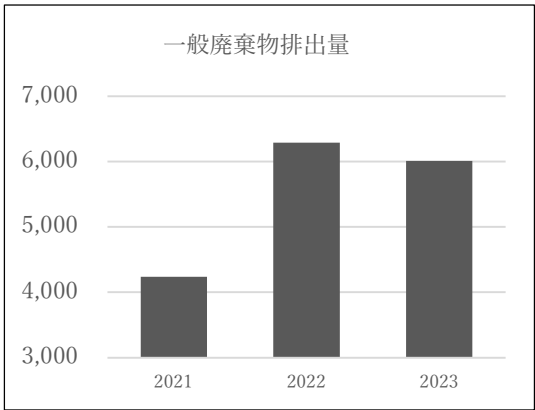
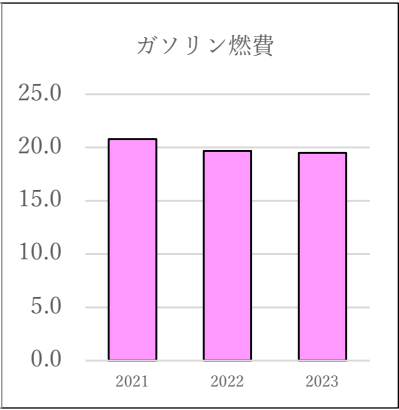
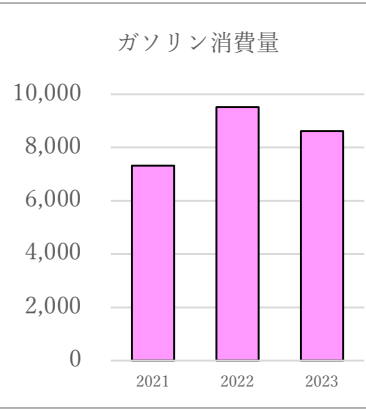
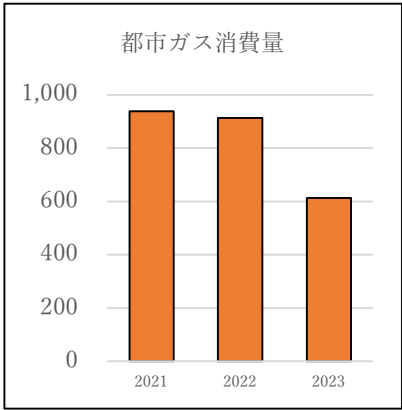
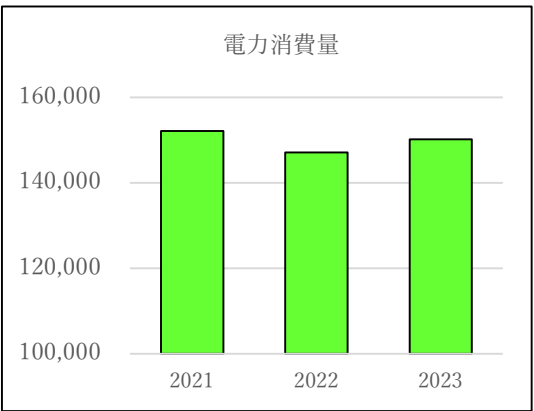
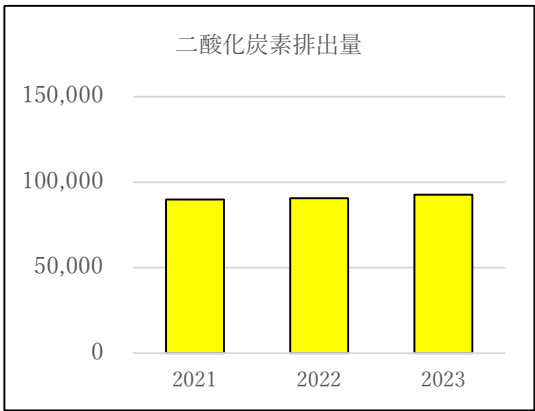
二酸化炭素排出源と他の排出削減実績(2024 年度)

電気	(※)
排出係数：都市ガス	2.160
L P ガス	3.000
ガソリン	2.320

全体(4 拠点合計)

※CO2の目標値は過去 3 年の平均値で設定
各拠点の電力会社の数値を使用
※端数計算で若干の誤差あり

	二酸化炭素(kg)	電力(kWh)	ガス(m³)	ガソリン(ℓ)	燃費(km/ℓ)	一般廃棄物(kg)	水使用量(m³)
2024 年目標 (2021～23 平均値)	90,831	149,820	860	7,646	20.32	5,471	1,001
2024 年実績	95,784	155,477	656	8,121	20.14	5,975	917



(拠点別)

大塚		・CO2 排出係数:電力の実績値は ENEOSの 0.472 を使用					
	二酸化炭素(kg)	電力(kWh)	都市ガス(m³)	ガソリン(ℓ)	燃費(km/ℓ)	一般廃棄物(kg)	水使用量(m³)
目標	60,919	103,488	844	4,269	20.05	5,148	887
実績	63,495	105,462	642	4,588	19.38	5,833	818

つくば		・CO2 排出係数:電力の実績値は U-POWER の 0.491 を使用					
	二酸化炭素(kg)	電力(kWh)	LPガス(m³)	ガソリン(ℓ)	燃費(km/ℓ)	一般廃棄物(kg)	水使用量(m³)
目標	17,725	35,761	5	106	19.73	323	98
実績	19,515	39,706	4	53	22.81	142	84

仙台		・CO2 排出係数:電力の実績値は 東北電力の 0.521 を使用					
	二酸化炭素(kg)	電力(kWh)	都市ガス(m³)	ガソリン(ℓ)	燃費(km/ℓ)	一般廃棄物(kg)	水使用量(m³)
目標	7,500	5,297	11	2,033	24.99	－	16
実績	6,255	5,472	10	1,576	22.35	－	15

大阪		・CO2 排出係数:電力の実績値は 関西電力の 0.318 を使用					
	二酸化炭素(kg)	電力(kWh)	都市ガス(m³)	ガソリン(ℓ)	燃費(km/ℓ)	一般廃棄物(kg)	水使用量(m³)
目標	4,687	5,274	－	1,238	16.50	－	－
実績	6,519	4,837	－	1,904	16.02	－	－

「維持活動」とし、過去 3 年間(2021～2023)の平均値を基準(目標)にして活動した実績値です。
※一部目標値の見直しあり

第 1 事業部 取扱商品

◆ 産業用ライト ◆

(画像処理、目視検査、光ファイバーライトガイド)

<<主な用途>>

工場の生産ラインでの製品検査(機械による自動検査、人による目視検査)や、研究等で用いられる顕微鏡の補助照明等

- これまでのハロゲンランプ等を中心とした照明装置から、省電力、温室効果ガス(CO₂)の削減、長寿命で安全を考慮した「LED 照明装置」の販売へと切り替えを推進。

■低消費電力

ハロゲン光源に比べ、73～84%削減。

■長寿命

約15～30倍の長寿命。メンテナンスにおけるダウンタイムを大幅に削減可能。



◆ 電動ドライバー ◆

(精密機器の組立)

<<主な用途>>

スマートフォン、ハードディスクドライブ等の精密機器に用いられる微細ネジ締め

- 精密なトルク設定が可能な「電流制御方式」による正確な組立作業を実現。歩留りを向上させ、ロスを防止。



	LED	その他ライト
2022 年度	75.8%	24.2%
2023 年度	75.7%	24.3%
2024 年度	73.8%	26.2%

第 4 事業部 取扱商品

◆ 同軸コネクタ・ケーブル ◆

<<主な用途>>

高速・大容量通信、研究、製品開発の数値測定等

- 環境負荷低減に配慮した欧州の RoHS 指令対応の電子部品を輸入し、国内のお客様に広く提供。

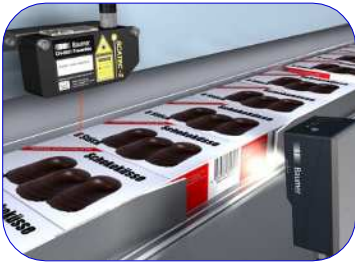


◆ スイッチ・センサー ◆

<<主な用途>>

工場の生産ラインでの数量判定、形状判定等

- 優れた検出性能を持つため、数・量の正確なカウントが可能。余剰生産を防ぐことで、資源の有効活用に貢献。



8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

適用法規	確認事項	状況
自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法（自動車 NOx・PM 法）	購入時に排ガス規制クリア車を選択しているか？ 車検項目を確認しているか？	車の販売代理店との関係を密にして選択管理を行っている。
道路交通法 第 62 条	運転従事者は整備不良がないかを確認し、速やかに車両管理者に報告しているか？ 車両管理者は整備手配を行っているか？	運転従事者は整備不良・故障の際には速やかに報告している。また、運転日報を運転終了時に作成している。
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（環境確保条例）	運転従事者はアイドリング・ストップを実行しているか？	アイドリングストップ等の励行を呼びかけ、毎月確認している。
	化学物質の適正管理。	少量の洗浄薬品を使用している。廃液は購入先に廃棄を依頼している。
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみに分別されているか？ 産業廃棄物のマニフェスト管理を行っているか？	日頃分別を行い、廃棄物回収業者に引き渡す前にも再確認しており、産業廃棄物はマニフェスト表で管理を行っている。
	平成 23 年 4 月の法改正に伴い、産業廃棄物管理票交付等状況報告様式内の文言が変更された。	前年度報告書を作成し、東京都環境局に提出済み。
	平成 29 年 10 月の法改正に伴い、水銀使用製品産業廃棄物に関する規制が強化。	蛍光管や電池の廃棄は、廃棄物回収業者に依頼する。
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）	フロン使用製品を適正に管理（定期点検等）し、記録を保存しているか？ 廃棄の際、専門業者に依頼して回収をしているか？	定期点検実施。機器不具合があった際は交換を実施。フロン類は専門業者に回収を依頼し、破壊証明書を取っている。
豊島区廃棄物の発生抑制、再利用による減量及び適正処理に関する条例	廃棄物管理責任者を選任し、事業系一般廃棄物の減量の推進、再利用に関する計画を作成したか？	年間及び月間の削減目標を掲げ、ごみの削減・分別を行っている。
エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）	エネルギー管理を工場単位から事業者単位へ変更。 重油換算 1500kl/年間使用者が対象。	対象量以下なので、報告の義務なし。
使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）	不用自動車はリサイクル料金を支払って登録業者に引き渡しているか？	ディーラーにリサイクル料金を支払って引き取ってもらっている。
資源の有効な利用の促進に関する法律（リサイクル法）	再生紙を利用しているか？ 裏紙を積極的に利用しているか？	紙の使用削減、裏紙利用を行っている。
消防法	危険物の管理は適切か？ 危険物 第 4 類 アルコール類メタノール、フラックス洗浄剤 WS-923 を少量使用。	少量危険物貯蔵取扱所に鍵を掛けて保管している。
仙台市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例	第 8 条 事業者は、物の製造、加工、販売等に際して、長期間使用が可能な製品の開発、製品の修理及び回収体制の確保等により、廃棄物の減量に努めなければならない。	箱等の 3R に努めている。
大阪府生活環境の保全等に関する条例	第 41 条の 2 自動車の駐車時における原動機の停止。	アイドリングストップ等を行っている。
	第 42 条 低公害車(自動車排出ガスがないか又はその量が相当程度少ない自動車で規則で定めるものをいう。)又は自動車排出ガスの量がより少ない自動車を購入し、又は使用するよう努めなければならない。	車の販売代理店との関係を密にして選択管理を行っている。
茨城県生活環境の保全等に関する条例	第 55 条～第 56 条 知事が定める化学物質適正管理指針に留意して、指定化学物質の適正な管理に努めなければならない。	指定化学物質 37 点を使用していない。

※環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

9.代表者による全体評価と見直し（2024 年度の評価）

2025年5月15日実施

前回の指示事項	取組結果
特になし	-

見直しに必要な情報 (環境管理責任者の報告事項)	代表者の評価結果 (有効に機能しているか、適切に実施されているか)
1.環境経営目標 の達成状況	水使用量が目標を達成したのに対し、CO2、廃棄物の排出量は過去 3 年間の平均値を目標値とした結果を上回った。CO2、廃棄物は業務量に関わるものなので、今後いかに業務効率を改善して排出量を減らすかが課題となる。
2.環境経営計画の 実施及び運用結果	電気、ガソリン:年間を通して目標値達成に至らなかった。過去3年の平均値を超えたということはコロナ下の運用状況から脱したと思われる。今後業務に負荷のかからない環境活動の運用の周知を行うこと。
3.環境関連法規等 の遵守状況	適切に実施している。
4.外部からの環境に 関する苦情・要望	引き続き取引先や近隣住民と良好な関係を保つようにすること。喫煙に関しては周囲の非喫煙者にも思った以上に影響を与えているという意識を持つこと。
5. その他	各地方営業所への環境活動周知も徹底しておこなうこと。

指示項目	変更する 必要性判断	代表者の指示内容
1.環境経営方針	無	特に無し。
2.環境経営目標	無	特に無し。
3.環境経営計画	無	大塚地区では昨年自動車事故が数件発生している。いずれも軽微なものだったとはいえ、運転者へ事故防止に関しての通達をすること。
4.実施体制	無	昨年度から掲げているスローガンに「考動」という言葉があるが、これは環境活動についても同じことと言える。一人一人の「考動」を促すように取り組んでいく。
5.その他	無	